

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月12日

上場会社名 ランサーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4484 URL https://www.lancers.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 秋好 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 小沼 志緒 (TEL) 03(5774)6086
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,798	16.2	△14	—	△8	—	△4	—
2020年3月期第2四半期	1,547	—	△214	—	△218	—	△225	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △4百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △225百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△0.30	—
2020年3月期第2四半期	△21.63	—

(注) 1. 当社は、2019年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

3. 2019年8月27日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,509	1,710	48.7
2020年3月期	3,145	1,714	54.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,710百万円 2020年3月期 1,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,950 ~4,300	13.7 ~23.8	10 ~50	—	10 ~50	—	0 ~40	—	0.00 ~2.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	15,506,000株	2020年3月期	15,505,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	37株	2020年3月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	15,505,279株	2020年3月期2Q	10,447,407株

(注) 2019年8月27日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「個のエンパワーメント」をミッション、「テクノロジーで誰もが自分らしく働ける社会をつくる」をビジョンとして掲げ、企業とフリーランスをマッチングする仕事のプラットフォームの運営により、企業とフリーランスの新しい働き方を支援しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、依然として多くの産業において経済活動の縮小・停滞など厳しい状況が継続しております。当社グループの事業においても、企業の経済活動縮小に伴ない、一部の取引需要が減退いたしました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたEC需要の拡大によりWeb制作・動画領域の仕事が堅調に推移しているほか、テレワーク等の新しい働き方が浸透したことで、オンラインでフリーランスに仕事を発注するハードルが下がった結果、当社グループのサービスは着実に拡大しております。当社グループの重要指標である流通総額については、当第2四半期において過去最高額に達しており、さらに企業の経済活動の再開に伴ない2020年9月より回復基調で推移しております。また、当社グループへの登録企業数は2020年6月より増加しており、2020年9月の登録企業数は昨年同月対比42%増加しています。

このような環境において、当社グループは企業のニーズに合わせて、様々なサービスを展開しております。オンライン上で企業と個人が直接マッチングするサービスである「Lancers」、「Lancers」での直接依頼が困難なクライアントや大量・複雑な案件を一括で依頼（発注）したいクライアントに対して、当社グループが直接依頼（発注）を引き受ける法人向けのサービスである「Lancers Outsourcing」、クライアントのエンジニア、デザイナー、マーケター等の常駐ニーズに対応して、フリーランス人材を紹介するサービスである「Lancers Agent」及び、クライアントによるBPOニーズもしくは定額での業務委託ニーズに対応して、当社グループが厳選したフリーランスチームに一括で依頼（発注）していただけるサービスである「Lancers Assistant」等を運営し、堅調に事業を拡大してまいりました。またテレワークニーズに対応するために2020年5月にリリースした新サービスである「ランサーズアシスタント電話代行プラン」についても順調に拡大しております。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,798,099千円（前年同期比16.2%増）、営業損失は14,628千円（前年同期は営業損失214,849千円）、経常損失は8,905千円（前年同期は経常損失218,062千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4,697千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失225,936千円）となりました。

なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して363,875千円増加し、3,509,268千円となりました。これは主に、流動資産において現金及び預金が524,878千円増加したこと、売掛金が112,556千円、未収入金が36,211千円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して368,096千円増加し、1,798,883千円となりました。これは主に、流動負債において短期借入金が450,000千円増加したこと、未払金が148,172千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して4,220千円減少し、1,710,384千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ272千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が4,697千円減少したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ521,561千円増加し、2,573,945千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、106,214千円の収入（前年同期は337,216千円の支出）となりました。これは主に、未払金の減少額141,905千円があったものの、預り金の減少額113,548千円、売上債権の減少額112,514千円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、35,198千円の支出（前年同期は135,163千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が16,994千円、有価証券の取得による支出が10,951千円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、450,508千円の収入（前年同期は892,036千円の収入）となりました。これは主に、短期借入金による収入が450,000千円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は、2020年8月13日に公表した「通期業績予想の公表に関するお知らせ」から変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,032,908	2,557,786
売掛金	450,844	338,287
有価証券	—	10,951
仕掛品	2,180	14,065
前払費用	39,244	24,042
未収入金	221,961	185,750
その他	41,485	16,932
貸倒引当金	△11,323	△14,040
流動資産合計	2,777,301	3,133,776
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,381	9,160
工具、器具及び備品	9,126	6,504
有形固定資産合計	19,507	15,665
無形固定資産		
ソフトウェア	4,000	22,457
ソフトウェア仮勘定	11,090	5,951
のれん	265,656	251,166
無形固定資産合計	280,746	279,574
投資その他の資産		
敷金及び保証金	64,637	64,050
繰延税金資産	3,190	16,190
その他	2,150	1,775
貸倒引当金	△2,140	△1,765
投資その他の資産合計	67,837	80,251
固定資産合計	368,091	375,492
資産合計	3,145,392	3,509,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	203,201	158,213
短期借入金	—	450,000
未払金	414,981	266,808
未払費用	90,941	85,912
未払法人税等	23,530	11,588
未払消費税等	21,167	36,519
預り金	570,935	684,483
賞与引当金	45,010	49,345
その他	55,018	52,011
流動負債合計	1,424,787	1,794,883
固定負債		
長期未払金	6,000	4,000
固定負債合計	6,000	4,000
負債合計	1,430,787	1,798,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,675,405	55,272
資本剰余金	1,666,405	1,676,853
利益剰余金	△1,626,676	△21,144
自己株式	—	△36
株主資本合計	1,715,133	1,710,944
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△528	△559
その他の包括利益累計額合計	△528	△559
純資産合計	1,714,605	1,710,384
負債純資産合計	3,145,392	3,509,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,547,954	1,798,099
売上原価	714,688	904,619
売上総利益	833,266	893,480
販売費及び一般管理費	1,048,115	908,108
営業損失(△)	△214,849	△14,628
営業外収益		
営業債務消滅益	3,465	2,437
助成金収入	570	2,850
その他	872	529
営業外収益合計	4,908	5,816
営業外費用		
支払利息	1,328	11
為替差損	31	46
固定資産除却損	—	34
株式公開費用	6,663	—
その他	97	—
営業外費用合計	8,120	93
経常損失(△)	△218,062	△8,905
税金等調整前四半期純損失(△)	△218,062	△8,905
法人税、住民税及び事業税	1,282	8,792
法人税等調整額	6,592	△13,000
法人税等合計	7,874	△4,208
四半期純損失(△)	△225,936	△4,697
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△225,936	△4,697

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△225,936	△4,697
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2	△31
その他の包括利益合計	2	△31
四半期包括利益	△225,933	△4,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△225,933	△4,728

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△218,062	△8,905
減価償却費	6,122	6,550
のれん償却額	9,660	14,490
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,263	2,556
受取利息及び受取配当金	△7	△6
支払利息	1,328	11
固定資産除却損	—	34
売上債権の増減額(△は増加)	△12,980	112,514
前払費用の増減額(△は増加)	13,702	15,425
未収入金の増減額(△は増加)	25,579	23,688
買掛金の増減額(△は減少)	17,794	△44,987
未払金の増減額(△は減少)	△37,907	△141,905
未払費用の増減額(△は減少)	△19,321	△5,028
未払消費税等の増減額(△は減少)	△50,024	35,364
預り金の増減額(△は減少)	6,692	113,548
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,723	4,334
前受収益の増減額(△は減少)	3,544	△5,738
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,976	△9,850
その他の負債の増減額(△は減少)	△18,400	△10,141
小計	△300,716	101,956
利息及び配当金の受取額	7	5
利息の支払額	△2,299	△235
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△34,207	4,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	△337,216	106,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,055	△1,413
無形固定資産の取得による支出	—	△16,994
有価証券の取得による支出	—	△10,951
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△133,583	—
敷金及び保証金の差入による支出	△114	—
敷金及び保証金の回収による収入	589	161
その他	—	△6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,163	△35,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	904,444	450,000
長期借入金の返済による支出	△12,408	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	544
自己株式の取得による支出	—	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	892,036	450,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	419,627	521,561
現金及び現金同等物の期首残高	1,728,774	2,052,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,148,401	2,573,945

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月25日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2020年8月1日に効力が発生しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金が1,620,405千円、資本準備金が289,824千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えました。また、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金1,610,229千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。

また、新株予約権の行使により資本金が272千円、資本剰余金が272千円それぞれ増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が55,272千円、資本剰余金が1,676,853千円、利益剰余金が△21,144千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2020年7月13日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるシクロマーケティング株式会社を吸収合併することを決議し、2020年10月1日付で吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業の名称：シクロマーケティング株式会社

事業の内容：コンテンツマーケティング支援事業等

(2) 企業結合日

2020年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、シクロマーケティング株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

ランサーズ株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

当社グループ会社であるシクロマーケティング株式会社は、月額定額制クリエイティブサービス「ミギウデ」を運営し、定額制サービスに関するマーケティング及びオペレーションノウハウを強みとしております。当社は、定額制のオンラインサービス「Lancers Assistant」の強化及び拡大を目的として、シクロマーケティング株式会社を2019年5月31日に完全子会社化し、サービス提供に取り組んでまいりました。本合併により、シクロマーケティング株式会社の多様な人的資産や事業運営ノウハウを当社に集約して業務を合理化することで、更なるシナジー効果を創出し、「Lancers Assistant」のより一層の強化及び拡大を図ってまいります。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

(取得による企業結合)

当社は、2020年10月8日開催の取締役会において、イリテク株式会社の株式を取得して子会社化することを決議し、同日付で株式を取得したことにより子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 イリテク株式会社

事業の内容 WEBサービスの開発・運営

なお、イリテク株式会社は2020年11月2日付でMENTA株式会社に商号変更しております。

(2) 企業結合を行った主な理由

「Lancers」で蓄積した経験を活かして「MENTA」で教える等、学習と仕事と成長が相互に循環する新しい形のランサーエコシステムの事業シナジーにより、さらなる企業価値の向上を目指すためであります。

(3) 企業結合日

2020年10月8日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

イリテク株式会社

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	218,000千円
-------	----	-----------

取得原価	218,000千円
------	-----------

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 9,726千円 (概算額)

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(第三者割当による新株式発行)

当社は、2020年10月8日開催の取締役会において、入江慎吾氏に対して第三者割当による新株式の発行（以下、「本第三者割当増資」という。）を行うことを決議し、2020年10月23日付で払込を受けています。本第三者割当増資の概要は以下のとおりです。

募集株式の種類及び数	当社普通株式 31,400株
払込金額	1株につき1,210円
払込金額の総額	37,994千円
増加する資本金及び 増加する資本準備金の額	増加する資本金の額 18,997千円 増加する資本準備金の額 18,997千円
募集又は割当方法	第三者割当の方法による
割当先	入江慎吾
払込日	2020年10月23日